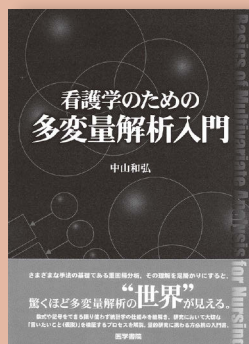


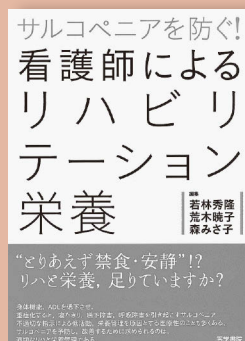
今月の 新刊紹介



看護学のための 多変量解析入門

著：中山和弘
発行：医学書院
定価：本体 4200 円＋税

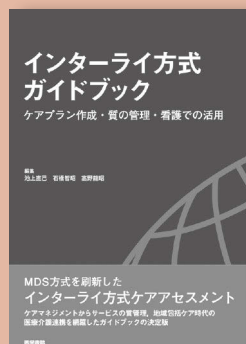
難解と敬遠されがちな多変量解析を、数学記号をできるだけ使わずに分かりやすく解説した入門書。看護学で幅広く使われている多変量解析の方法を網羅し、それらをどのように使い分けるのか、そこで何が行われていて、何が言えるのかを、7つのポイントに沿って解説した。多変量解析を利用した論文の図表を批判的に読めるようにしたい人を支援する。



サルコペニアを防ぐ！ 看護師による リハビリテーション栄養

編：若林秀隆，荒木暁子，森みさ子
発行：医学書院
定価：本体 2600 円＋税

リハビリテーション栄養実践のための必携書。身体機能、ADLを低下させ、重症化すると嚥下障害、呼吸障害を引き起こすサルコペニア。サルコペニアを予防、改善するには、適切なリハビリテーションと栄養管理が必須である。アセスメント、診断推論、診断、ゴール設定、介入、モニタリングのケアプロセスで、看護師の果たす役割を示す。



インターライ方式ガイドブック ケアプラン作成・質の管理・看護での活用

編：池上直己，石橋智昭，高野龍昭
発行：医学書院
定価：本体 3600 円＋税

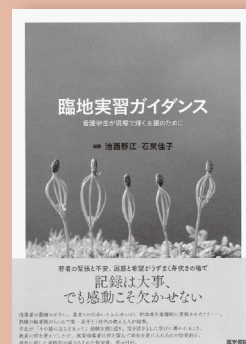
MDS方式を刷新したインターライ方式の導入方法から、具体的な活用まで解説したガイドブック。詳細なアセスメントを適切なケアプランに反映させていくコツを、4つの事例から習得できる。サービスの質管理の方法、地域包括ケアにおける活用方法なども紹介。地域医療連携での効果的な活用を目指す上で必読の書。



看護における研究 第2版

編：南裕子，野嶋佐由美
発行：日本看護協会出版会
定価：本体 2900 円＋税

看護研究のロングセラー・テキストの改訂版。意義ある看護研究を効率よく行うためには、研究課題の絞り込みから概念枠組みの構築、研究デザインに沿ったデータの収集・分析方法など、正しい知識を身につける必要がある。質的研究と量的研究を、研究例と図表を用いて分かりやすく解説し、初学者から幅広く活用できる。



臨地実習ガイダンス 看護学生が現場で輝く支援のために

編：池西静江，石東佳子
発行：医学書院
定価：本体 2700 円＋税

実習時間の削減や実習施設の不足などの要因から、臨地実習での成果を上げることが難しくなっている。本書は、ベテラン教員と施設の指導者がともに何を志向し、どのように連携して学生の指導・支援をアップデートしているかなど、現状に即した実践知が盛り込まれた指南書である。



看護師のしごとと暮らしを豊かにするシリーズ② 看護師のためのアドラー心理学 人間関係を変える、心に勇気のひとしずく

著：岩井俊恵，長谷静香
発行：日本医療企画
定価：本体 1500 円＋税

別名、勇気づけの心理学といわれるアドラー心理学。人間の悩みはいつも「対人関係」から生まれ、勇気づけと行動により、人間関係と人生を変えることができるとされる。本書では、組織の中で、患者との対応で疲弊する看護師の悩みを解決する考え方と実践法を解説。看護師の実体験を踏まえ、看護師目線で悩みの解決策をアドバイスする。